

ホテルの廃食用油を持続可能な航空燃料（SAF）の原料に 運営する 14 のホテル・旅館で廃食用油の提供を開始

オリックス・ホテルマネジメント株式会社（本社：東京都港区、社長：似内 隆晃）は、このたび、使用済みの食用油（廃食用油）を原料とした SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project（事務局：日揮ホールディングス株式会社）」へ参画するとともに、当社が運営する 14 の旅館・ホテルから発生する廃食用油を、SAF の原料として提供しますので、お知らせします。2026 年 6 月から順次、廃食用油の提供を開始します。



提供イメージ

ORIX HOTELS & RESORTS の旅館・ホテルでは、レストラン運営に伴い日々廃食用油が発生しています。当社は、本プロジェクトを通じて、これらの廃食用油を SAF の原料として提供します。当社が提供する廃食用油を原料に、SAF 製造会社である合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY が SAF の製造を行います。

廃食用油の提供は ORIX HOTELS & RESORTS の全 14 施設が対象で、当社が提供する油は年間約 2.5 万 L の SAF 製造に相当する原料となる見込みです。これにより、年間約 70t・CO₂ の削減効果に相当することが見込まれます※1。

SAF は、従来の航空燃料と比較し、製造から使用までのライフサイクル全体で約 60～80%の CO₂ 削減効果があるといわれている持続可能な航空燃料です。日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10%を SAF に置き換える目標を掲げるなど、バイオ燃料への転換が求められています。

当社は、「環境へのおもいやり」「心地のよい滞在」「地域との共生」「働きがいのある職場づくり」「公正な事業活動」の 5 つの重点テーマに沿って、サステナビリティ活動を推進しています。これまで、複数のホテルに納入する食材を 1 台のトラックでまとめて配送する「共同配送」など、CO₂ 削減に資する取り組みを推進してまいりました。今後も環境に配慮しながら、日本各地の魅力ある地域で、多様な施設の運営を進めてまいります。

※1 日揮ホールディングス株式会社による試算値。

以上

1. 廃食用油の提供と SAF への再資源化について

当社は、このたび日揮ホールディングス株式会社、株式会社レポインターナショナル、ならびに合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY と、ホテルで発生する廃食用油の SAF への再資源化を目的とする、廃食用油の供給および利用に関する基本合意書を締結しました。当社は、ORIX HOTELS & RESORTS の旅館・ホテル全 14 施設のレストランで発生する廃食用油を株式会社レポインターナショナルに提供します。提供した廃食用油は、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY において SAF の製造に活用されます。日揮ホールディングス株式会社は、廃食用油の SAF への再資源化を実現するためのサプライチェーン構築・マネジメントを行います。

■各社の役割

- ・オリックス・ホテルマネジメント株式会社
全国で展開する ORIX HOTELS & RESORTS の 14 施設にて、廃食用油の保管・引き渡し
- ・株式会社レポインターナショナル
使用済み食用油の回収・運搬
- ・合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY
保有するコスモ石油堺製油所構内の SAF 製造装置において、廃食用油を原料に SAF を製造
- ・日揮ホールディングス株式会社
廃食用油の SAF への再資源化における全体のサプライチェーン構築・各種調整

2. SAF（持続可能な航空燃料）について

SAF は、廃食用油やサトウキビなどのバイオマス資源、都市ごみなどを原料として製造される航空燃料です。従来のジェット燃料と比較して、製造から使用までのライフサイクル全体で約 60~80%の CO₂ 削減効果があるといわれています*2。航空機は自動車などと比べて電動化が難しいことから、SAF の利用による CO₂ 排出量の削減が期待されています。日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10%を SAF に置き換える目標を掲げており、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、バイオ燃料への転換が求められています。

*2 [空のカーボンニュートラルポータルサイト/国土交通省](#)

3. Fry to Fly Project について

「Fry to Fly Project」は、国内資源循環による脱炭素社会の実現に向けて、2023 年 4 月に始まったプロジェクトです。日揮ホールディングス株式会社が事務局を務め、現在、趣旨に賛同する 317 の企業・自治体・団体が参加しています（2026 年 5 月末時点）。本プロジェクトでは、家庭や店舗などで発生する廃食用油を国内資源として SAF に再活用し、再資源化された SAF で航空機が飛ぶ世界の実現を目指しています。廃食用油の回収促進に加え、自治体と連携した教育活動などを通じて、脱炭素化に向けた資源循環に参加できる機会を創出しています。

- ・ Fry to Fly Project 公式サイト：<https://www.fry-to-fly.com/>



Photo by Tatsuya Tanaka

Fry to Fly Project

4. オリックス・ホテルマネジメントのサステナビリティの取り組みについて

オリックス・ホテルマネジメントは、「環境へのおもいやり」「心地のよい滞在」「地域との共生」「働きがいのある職場づくり」「公正な事業活動」の5つの重点テーマに沿って、サステナビリティ活動を推進しています。「環境へのおもいやり」では、CO₂削減、食品ロスの削減・リサイクル、プラスチック使用の削減など、自然環境の負荷低減に取り組んでいます。

・オリックス・ホテルマネジメントサステナビリティページ：

<https://www.orix-realestate.co.jp/hotelmanagement/company/sustainability.html>

5. オリックス・ホテルマネジメント株式会社について

オリックス・ホテルマネジメントは、オリックスグループの運営事業を担う会社として、国内28施設の多種多様な旅館・ホテル、研修施設の運営を行っています（第三者に運営を委託している施設を含む）。運営する施設のうち14施設は、事業ブランド「ORIX HOTELS & RESORTS」の施設として、「また行きたい、とっていただける場所。」をブランドコンセプトに、お越しいただく皆さまのさまざまなライフステージに合わせた体験をお届けしています。また、水族館やふぐ料理店の業務支援も行っています。

所在地：東京都港区浜松町2-3-1

設立：1997年1月（ブルーウェーブ株式会社から2020年4月1日に社名変更）

代表者：似内 隆晃

事業内容：旅館・ホテル・研修施設等の施設運営

株主構成：オリックス不動産株式会社（100%）

ウェブサイト：<https://www.orix-realestate.co.jp/hotelmanagement/>

ORIX HOTELS & RESORTS 公式ウェブサイト：<https://www.orixhotelsandresorts.com/>